

個人投資家さま向け会社説明会

2025年8月29日

1	信金中金/信用金庫の概要	3
2	信金中金の優先出資証券とは？	9
3	信金中金の戦略と取組み	21
4	よくいただくご質問	36
	Appendix	45

1. 信金中金/信用金庫の概要



地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ

経営理念

-Philosophy-

信用金庫の中央金融機関として、
信用金庫業界の発展につとめ、
もってわが国経済社会の繁栄に貢献する。

信金中金とは？

1950年

信用金庫の出資により創立

2000年

信金中央金庫（略称：信金中金）に名称変更
東京証券取引所に優先出資証券を上場

2025年

『SCBストラテジー2025』開始



（2025年3月末）

株価

194,800円

※2025年8月22日時点

1口当たり配当金

6,500円

総資産（連結）

47兆円

拠点数 国内：14店舗
 海外：5 拠点※
 ※2025年7月1日時点

常勤役職員数
1,297名

資金量

32兆円

貸出金量

9兆円

親会社株主に
帰属する当期純利益 424億円

自己資本比率（連結）
23.40%

資金量ランキング

	金融機関名	資金量 (兆円)
1	三菱UFJ銀行	202
2	ゆうちょ銀行	190
3	三井住友銀行	159
4	みずほ銀行	153
5	三井住友信託銀行	93
6	三菱UFJ信託銀行	65
7	農林中央金庫	56
8	りそな銀行	49
9	みずほ信託銀行	32
10	信金中央金庫	32

	金融機関名	資金量 (兆円)
11	横浜銀行	18
12	埼玉りそな銀行	17
13	千葉銀行	16
14	福岡銀行	13
15	静岡銀行	11
16	SBI新生銀行	11
17	楽天銀行	11
18	北洋銀行	11
19	常陽銀行	10
20	西日本シティ銀行	9

(注) 2025年3月末時点、資金量には海外店舗分を含む
(出所) 2025年7月11日付ニッキン

Webムービー「SHINKIN Biz Room」

俳優の坂口健太郎さんを起用したWebムービー「SHINKIN Biz Room」を公開中
SHINKIN Biz Roomの支配人となった坂口さんが、経営者の様々なお悩みに寄り添い、
信金中金のソリューションを駆使して解決に導きます。



SHINKIN Biz Room
特設サイト



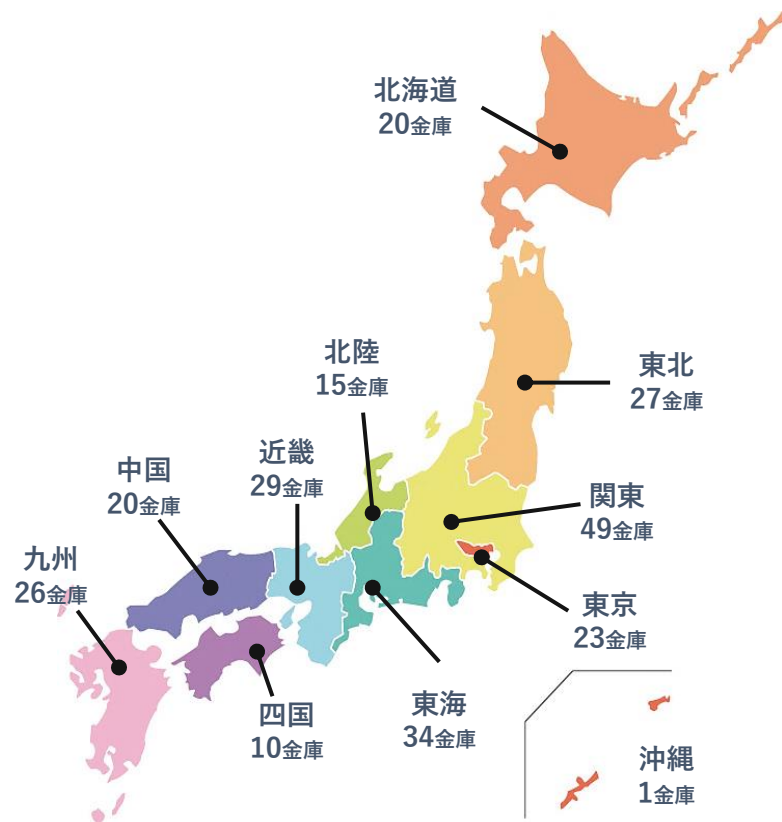
全国の信用金庫ネットワーク

(2025年3月末)

- **相互扶助**を基本理念とした中小企業・地域住民のための非営利金融機関
- 事業地区：一定の地区に限定、会員資格：個人・中小企業に限定、貸出：原則会員を対象にしており、**地域社会の繁栄**こそが信用金庫の使命
- 信用金庫は、「**地域の、地域による、地域のための金融機関**」と言える

～数字で見る信用金庫～

(2025年3月末)



預金量

161兆円

貸出金量

81兆円

拠点数

254金庫/7,058店舗

役職員数

9.6万人

2. 信金中金の優先出資証券とは？

優先出資証券とは

協同組織金融機関が自己資本の充実をはかるために、会員（信用金庫）からの普通出資のほかに、会員外からも出資を募るために発行する有価証券です。



一般の株式と同じように、証券会社を通じて売買することができます。

出資者

信金中金の優先出資証券

証券口座を開設している
個人・法人

議決権

なし

その他

- ・ 普通出資証券よりも優先的に配当を受けられる権利を有する
- ・ 1口から購入可能

1

安定した財務内容

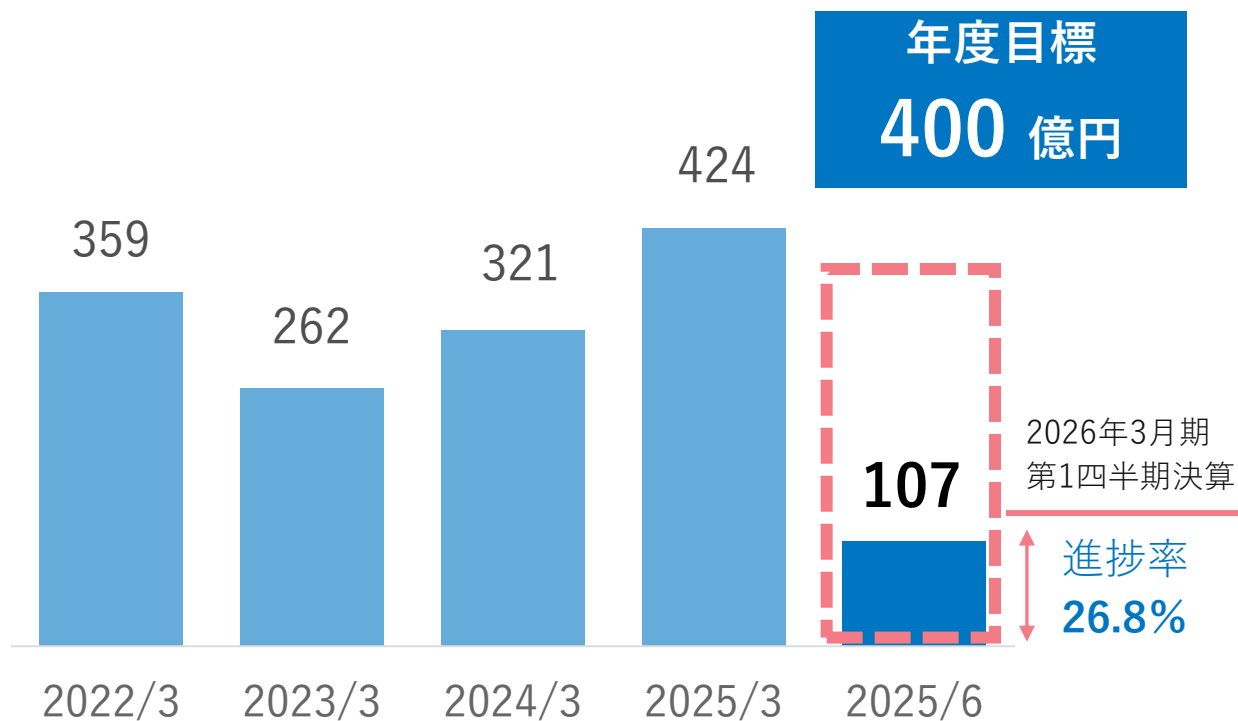
2

配当・充実した優待商品

ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 2026年3月期 第1四半期決算における年度目標の進捗率は26.8%
- ◆ 自己資本比率は20%台を維持しており、引き続き堅固な財務基盤を維持

親会社株主に帰属する当期純利益

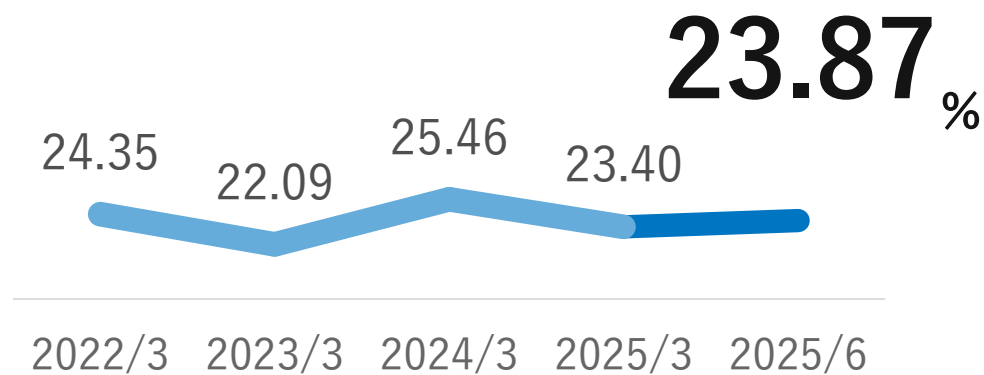


連結自己資本比率(国内基準)

参考：業態別比較(単体)
(2025年3月末)

- ・ 信金中金：24.01%
- ・ 都市銀行：15.50%
- ・ 地方銀行：10.28%

(注) 都市銀行は5行、地方銀行は国内基準行(52行)の平均
(出所) 各行決算資料、(一社) 全国地方銀行協会



◆ 経費率、不良債権比率ともに低水準で推移し、引き続き高い健全性を確保

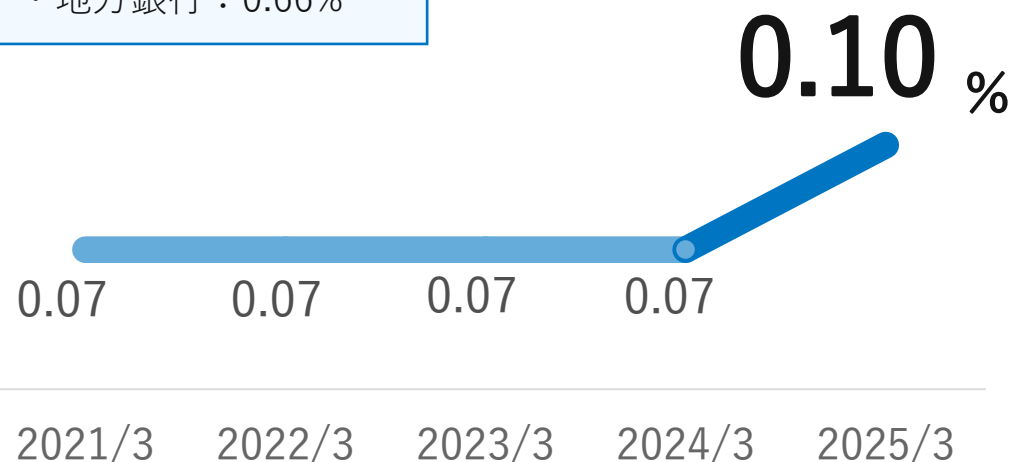
経費率（単体）

参考：業態別比較(単体)
(2025年3月末)

- ・ 信金中金：0.10%
- ・ 都市銀行：0.48%
- ・ 地方銀行：0.66%

(注) 経費率 = 経費 / 預金等平残

(出所) (一社) 全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」



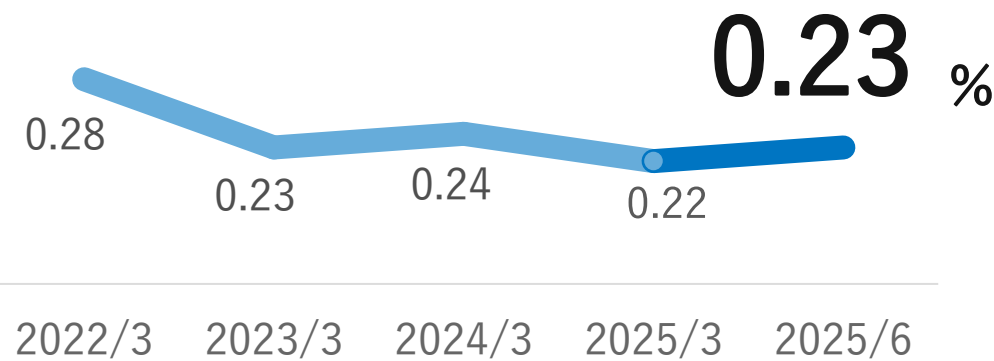
不良債権比率(単体)

参考：業態別比較(単体)
(2025年3月末)

- ・ 信金中金：0.22%
- ・ 都市銀行：0.71%
- ・ 地方銀行：1.55%

(注) 不良債権比率 = 金融再生法開示債権 / 総与信残高

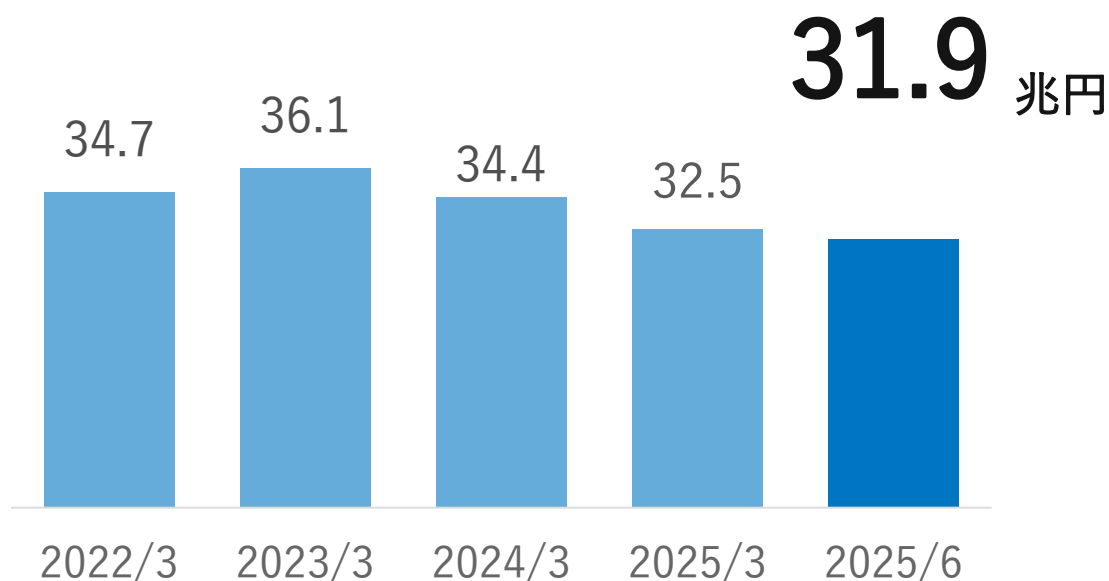
(出所) (一社) 全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」



ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 信用金庫の預金を中心とした安定的な資金調達により、豊富な資金量を確保
- ◆ 高い安定性や健全性を背景に国内金融機関の中でもトップクラスの格付を獲得

資金量（単体）



格付の状況

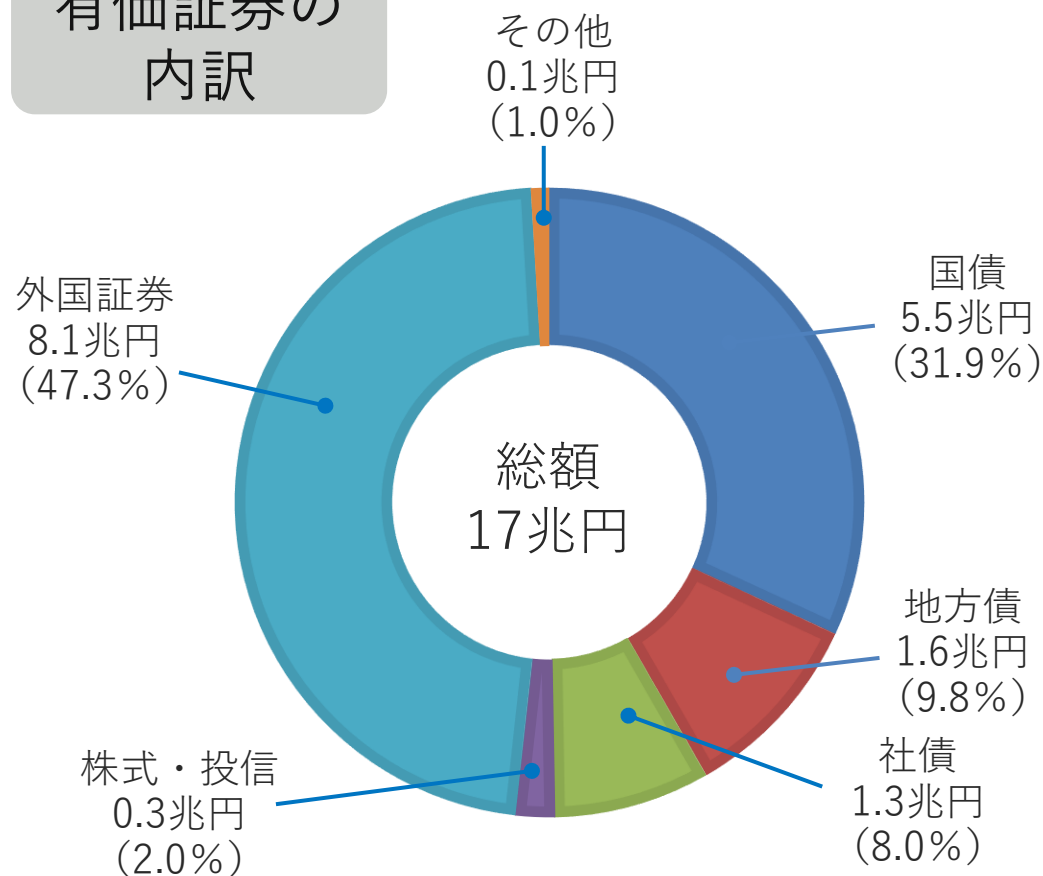
（2025年6月末）

格付会社	長期	アウトルック	短期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	安定的	—
日本格付研究所	AA	安定的	—

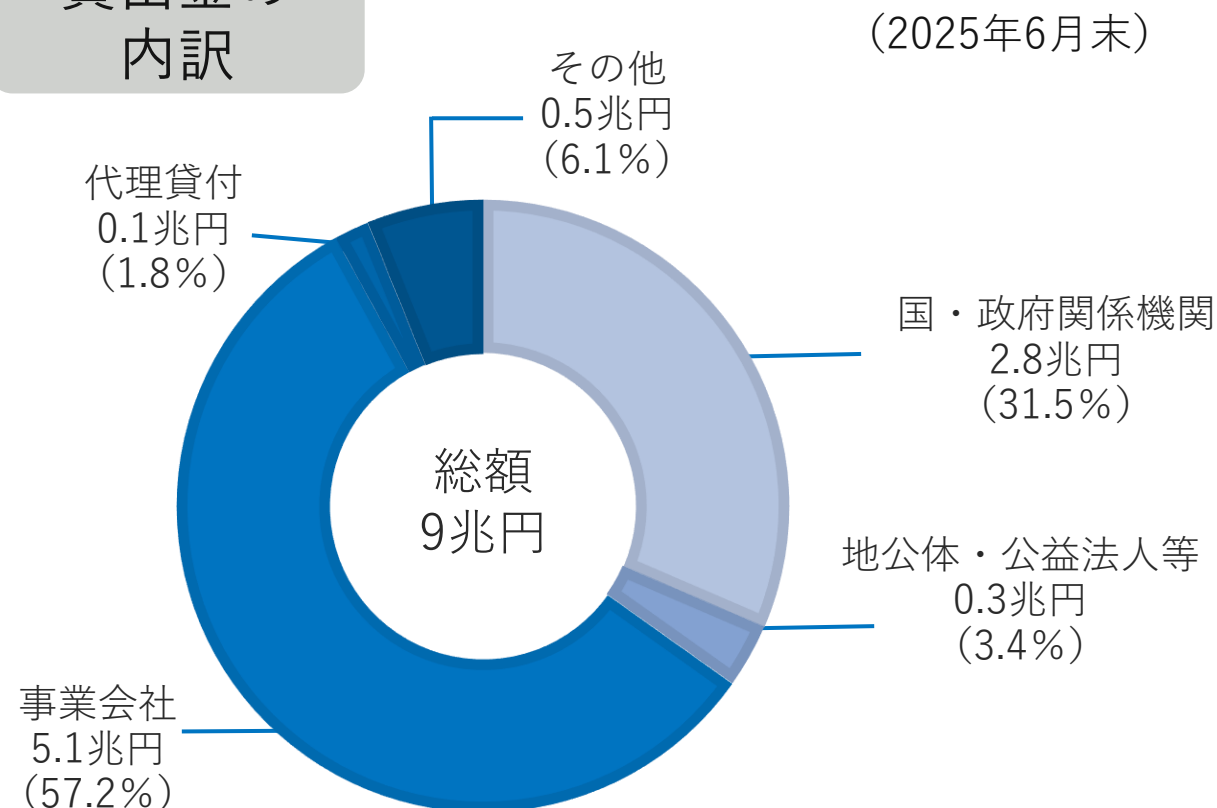
ポイント① 安定した財務内容

- ◆ 有価証券運用の過半は、国債・地方債および政府保証債等を中心とした社債
- ◆ 貸出金は、上場企業を中心とした事業会社および国・政府関係機関が大半

有価証券の内訳



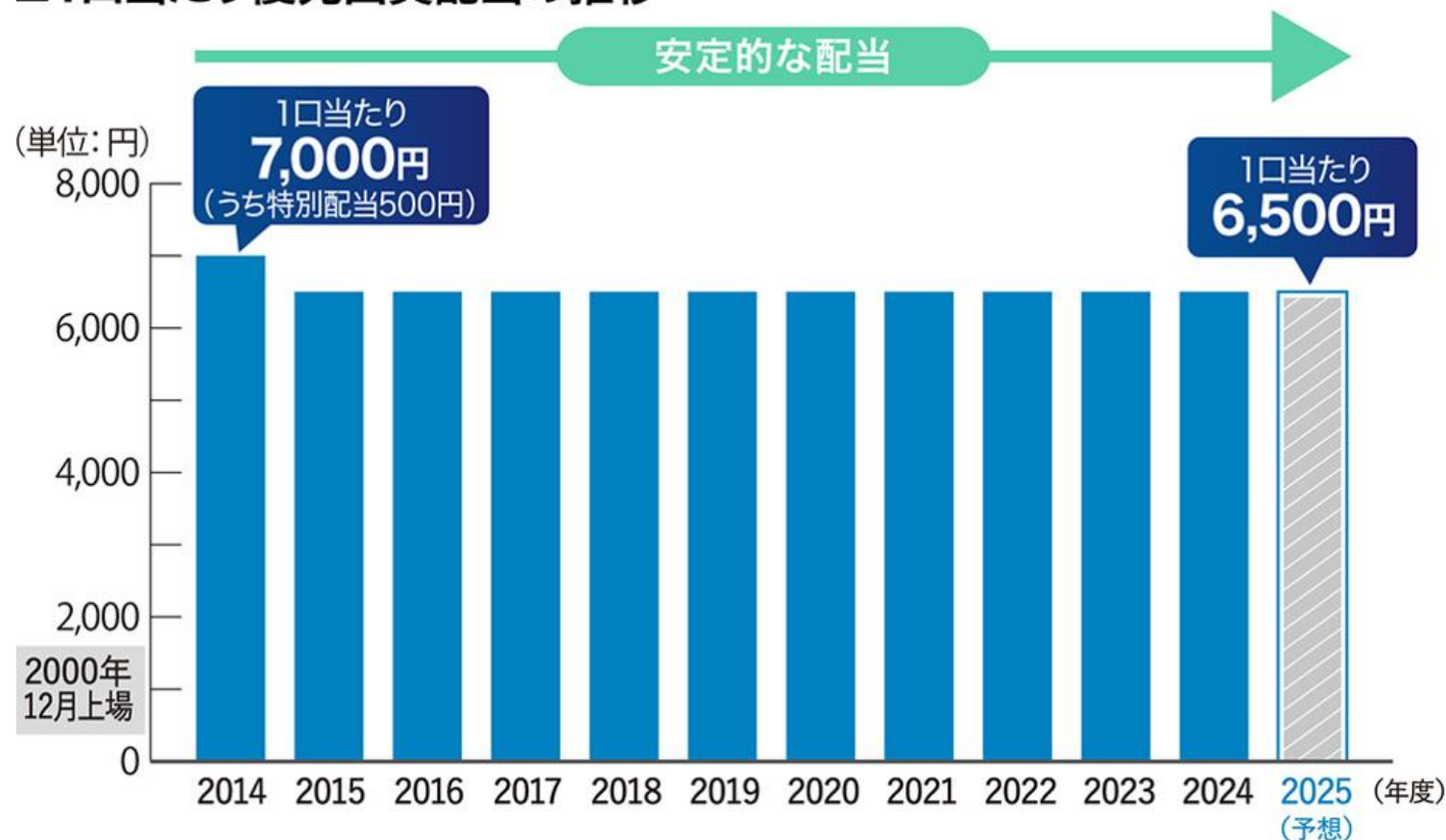
貸出金の内訳



ポイント② 配当・充実した優待商品

◆ 年に1回、3月末を権利確定日として安定的な配当を実施

■1口当たり優先出資配当の推移



配当利回り※

3.34 %

優待込み配当利回り※

3.85 %

※2025年8月22日時点。優待込み配当利回りは、1口あたり1,000円相当の優待を加味した利回り

ポイント② 配当・充実した優待商品

- ◆ 保有口数に応じて、オリジナルグッズまたはグルメカタログを贈呈
- ◆ 全国の信用金庫取引先グルメで地域の中小企業を応援することが可能



優待商品に対する
優先出資者の満足度は、
80%を超えています

- | | |
|-------|--------------------------|
| 1・2口 | 1,000円相当の優先出資者限定オリジナルグッズ |
| 3～9口 | 3,000円相当のグルメカタログから1つ選択 |
| 10口以上 | 6,000円相当のグルメカタログから1つ選択 |

優先出資者限定オリジナルグッズ(1,000円相当)

まぼろしの味噌2種詰め合わせ 計1kg



グルメカタログ

3,000円相当のグルメカタログ 6,000円相当のグルメカタログ



グルメカタログ商品のご紹介（3～9口/2024年度の人気商品一例）

熊本県産
くまさんの輝き 5kg



ふじのくに
豚しゃぶしゃぶセット



宇都宮餃子館
餃子食べ比べ 7種セット



グルメカタログ
(2024年度) はこちら▶



グルメカタログ商品のご紹介（10口以上/2024年度の人気商品一例）

特別栽培米
奥能登産能登ひかり



味噌と粕の
漬け魚詰合せ



しんきん牛すき焼きセット



グルメカタログ
(2024年度) はこちら▶



Q. 優先出資を購入するにはどうすればいいんですか？

Q. 配当金や優待品はいつ頃受け取ることができるのですか？



一般の株式と同じように、証券会社を通じて購入することができます。
証券コードは「**8421**」で、**1口から購入**することができます。
優先出資は、**NISA（少額投資非課税制度）における成長投資枠**の対象です。



- ◆ 配当金：**3月末**の優先出資口数に応じて、**年1回**配当を実施しています。
例年6月下旬にお支払いしています。
- ◆ 優待品：**9月末**の優先出資口数に応じて、**年1回**オリジナルグッズ
もしくはグルメカタログをお届けします。
例年12月初旬に送付しています。

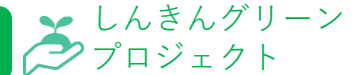
3. 信金中金の戦略と取組み

前中期経営計画『SCBストラテジー2022』

2030年までに目指す姿

信用金庫が地域において最も信頼される金融機関となる

企業価値の向上と社会課題の解決の両立 = サステナブル経営の実現



Human assets
人財

Network
ネットワーク

Digital
デジタル

ストラテジー 1

地域の課題を解決する機能の向上

ストラテジー 2

信用金庫の収益力・リスク対応力の強化

ストラテジー 3

持続的かつ効率的な業務運営態勢の構築

ストラテジー 4

信金中金の財務基盤の強化

4つのストラテジーとHaNDによる変革を通じて、信用金庫業界の競争力を向上



信用金庫



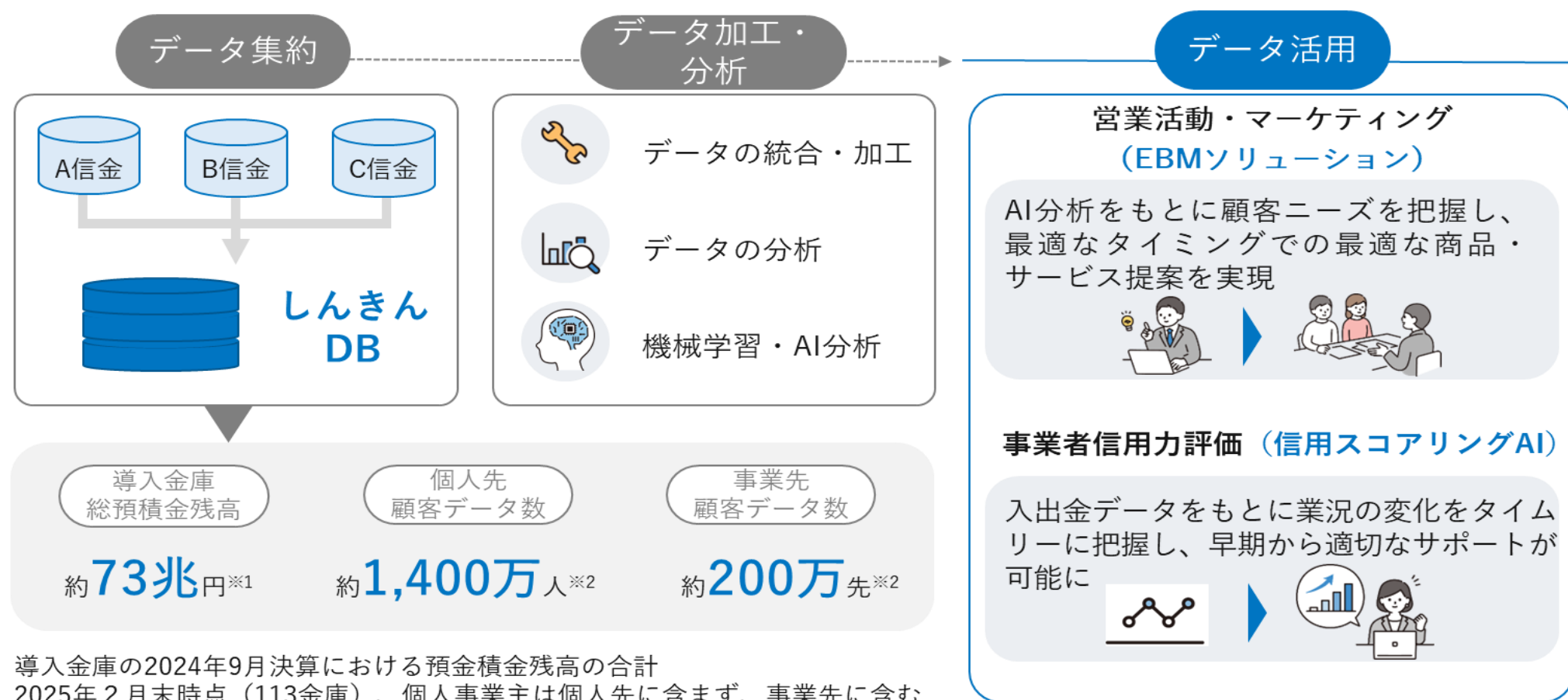
信金中金



本計画の紹介動画
(YouTube)

主な施策の実績 ～データ活用基盤「しんきんDB」～

- ◆ 2023年4月より、信用金庫が持つ膨大なデータを分析し、顧客提案に活かすデータ活用基盤「しんきんDB」を提供し、2024年度末で145金庫が利用しています。「しんきんDB」の機能拡充や新サービスの展開を通じ、信用金庫の営業推進の高度化や業務効率化に貢献してまいります。



※1 導入金庫の2024年9月決算における預金積金残高の合計

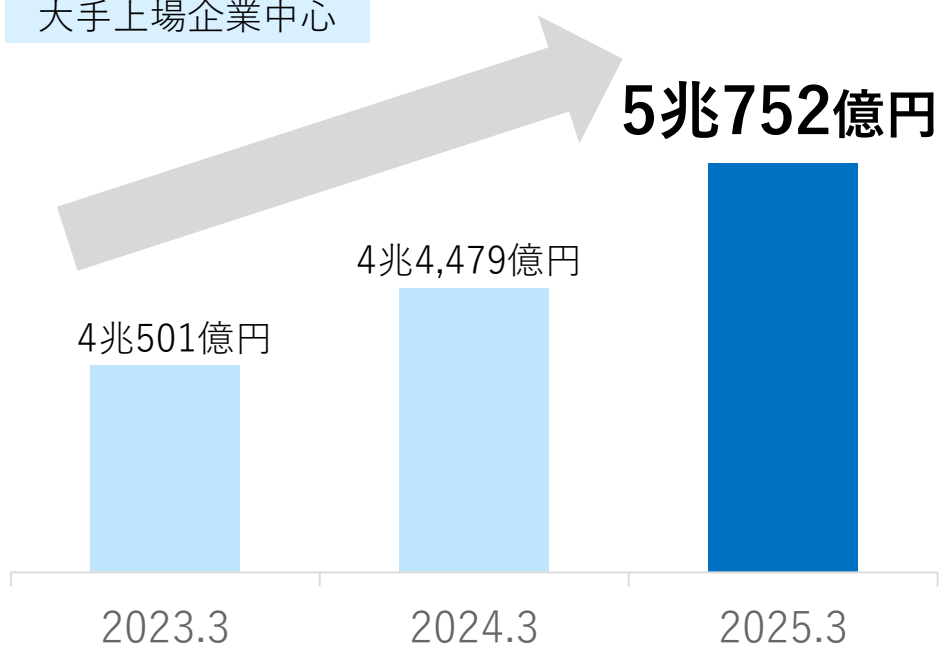
※2 2025年2月末時点（113金庫）、個人事業主は個人先に含まず、事業先を含む

主な施策の実績 ～事業会社向け貸出・ESG投融資～

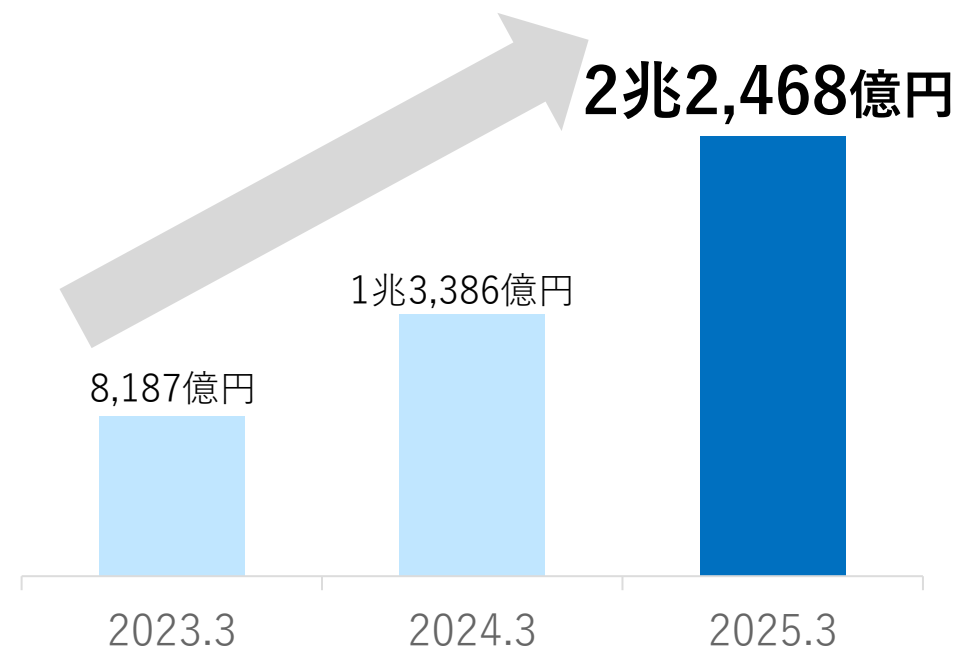
- ◆ 法人営業部門を中心に新規先の開拓に注力した結果、2024年度末における事業会社向け貸出残高が5兆円を超えました。
- ◆ ESG投融資については、グリーンボンドや再生可能エネルギー事業向けプロジェクトファイナンス等、幅広く投融資を実施し、2024年度末の累計実績は、2兆2,468億円に達しました。

事業会社向け貸出残高の推移

取引先：
大手上場企業中心



ESG投融資額の推移



中期経営計画『SCB戦略2025』の概要

2030年までに目指す姿

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する

私たちの目指す
“1つの金融グループ”

<目指す姿への共感・共鳴に向けたアプローチ>

私たちの想い

私たちの取り組む
社会課題

中期経営計画『SCB戦略2025』 <計画期間> 2025年度～2027年度



戦略1
信用金庫の経営基盤の強化



戦略2
地域の持続可能性の向上



戦略3
信金中金の成長



協同組織金融機関の特性を
踏まえたガバナンス改革

大切にする取組姿勢「トライ＆ラーンの実践」

中期経営計画の
詳細はこちら



コンセプトムービーは
こちら



私たちの想い

～ 地域の『ものがたり』を明日へとつなぐ～

それぞれの地域の想いから生まれた信用金庫は、Face to Faceで地域に寄り添い、日本の原動力である中小企業や人々の暮らし、その土地固有の産業や文化・伝統といった日本をかたち創る『ものがたり』の紡ぎ手として、地域のステークホルダーとともに、地域経済社会の発展に貢献してきた。

私たち信金中金は、そんな信用金庫の想いから生まれたOnly1の金融機関であり、業界のセントラルバンクとして、信用金庫とともに歩み、日本の発展に尽力してきた。

今、わが国は、人口および中小企業数の深刻な減少、気候変動といった様々な問題に直面しており、大切に継承されてきた地域の『ものがたり』が失われてしまうかもしれない瀬戸際に立っている。

地域とともに歩む信用金庫は、地域の明日を創り、日本の未来を守るために、目の前にある危機に立ち向かっていかなければならない。

そのため、私たちは、既成概念に囚われることなく迅速果敢に挑戦し、信用金庫と“1つの金融グループ”として成長することで、日本を支える地域を力強く牽引していく。

信用金庫が地域において必要不可欠な存在（最も信頼される金融機関）となるため、私たちは走り続け、地域、そして日本の『ものがたり』を明日へとつないでいく。

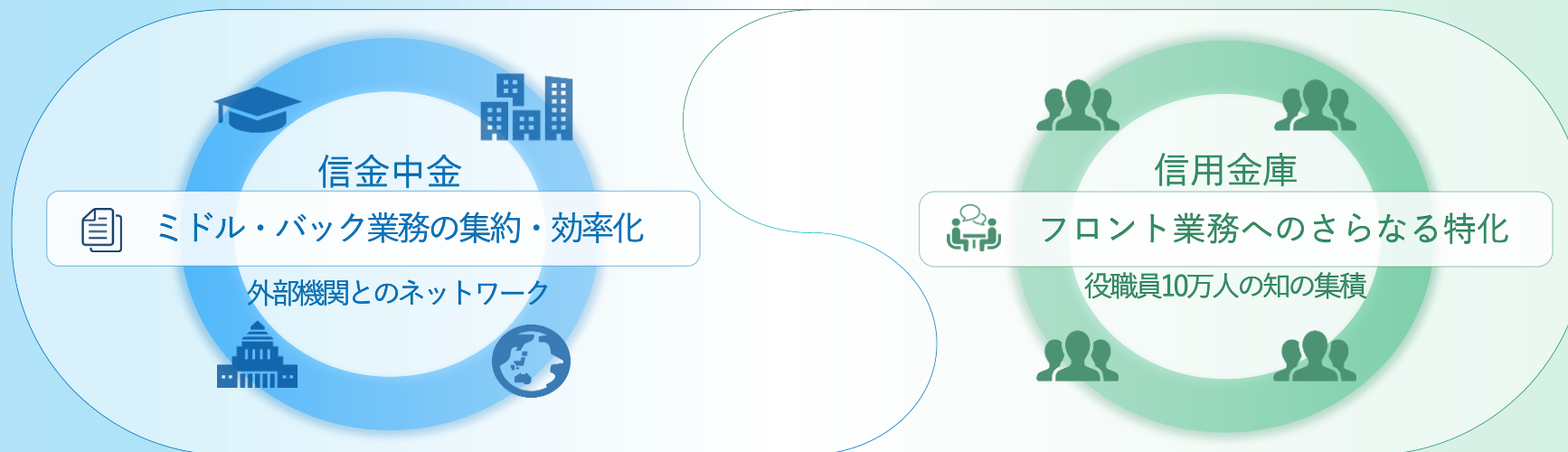
私たちの目指す“1つの金融グループ”

信用金庫とともに“1つの金融グループ”として地域経済社会の成長を牽引する

地域のステークホルダー（中小企業、個人、地方自治体等）

“信用金庫らしさ”を活かした営業活動を持続的に展開

- ▶ Face to Face（地域密着・親しみやすさ）
- ▶ 顧客本位（相互扶助・非営利）
- ▶ 機動性・柔軟性



業界団体等と連携した様々な取組みにより、“信用金庫らしさ”を発揮できる有機的な業務運営基盤を構築

共同化

DX・
デジタル化

知の共有

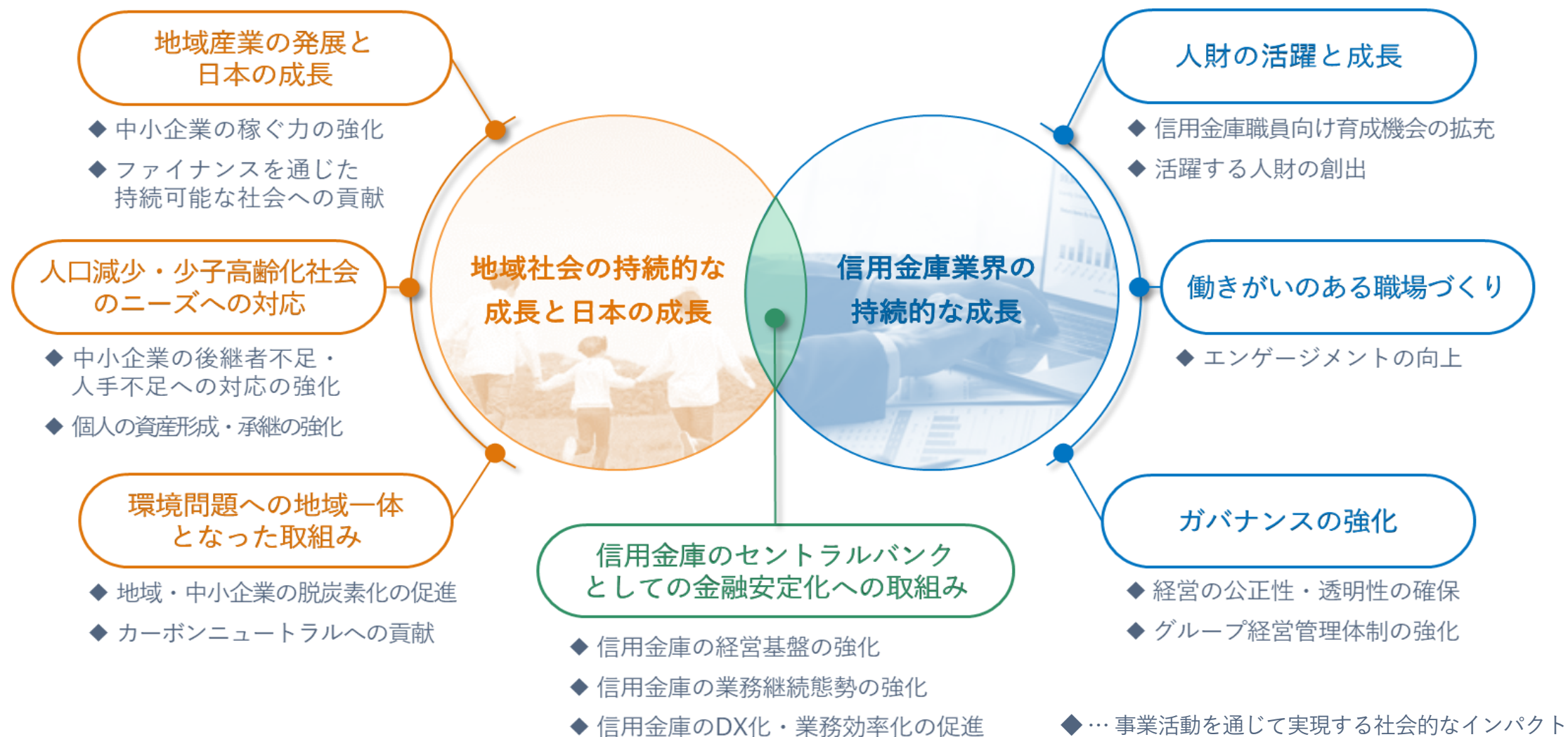
経営
コンサルティング

人財育成

商品・
サービス提供

私たちの取り組む社会課題

信金中金グループの重要な社会課題（マテリアリティ）を以下の7項目とし
事業活動を通じて社会的なインパクトを実現する



ストラテジー 1 信用金庫の経営基盤の強化

<< 環境・課題認識 >>

- “金利ある世界”の到来
- 雇用市場の流動化
- 中小企業の廃業・倒産の増加
- 顧客ニーズの多様化・高度化
- ネット銀行等との競争激化
- 信用金庫の預貸金の伸び悩み 等

考え方

- 地域の持続的な成長を支えていくためには、地域金融を担う信用金庫が、より強固で盤石な経営基盤（財務・収益・人財）を構築していく必要がある。
- 信金中金は、業界団体等と連携し、“信用金庫らしさ”を発揮できる生産性の高い業務運営基盤を構築するとともに、個々の信用金庫の特性を踏まえたきめ細かな経営コンサルティング活動と信用金庫役職員の人財育成を通じて、グループ一体となって信用金庫の経営基盤を強化する。

<< ありたい未来 >>

- 信用金庫が、強みである“信用金庫らしさ”を活かした営業活動を持続的に展開し、課題解決を通じて、地域において最も信頼される金融機関として高い存在感を発揮している未来

主要な取組み

信用金庫経営を支える
コンサルティングの強化



信用金庫の生産性の高い
業務運営基盤の構築



信用金庫の
人財育成の強化



～2025

2025～2027

2030～

主要な取組み

主な重点施策

信用金庫経営を支える コンサルティングの強化



- 資金運用・市場リスク管理、信用リスク管理、人事戦略に関するコンサルティング機能の強化
- 収益機会拡充に向けた商品・サービスの提供
- コンサルティング推進態勢の強化

信用金庫の生産性の高い 業務運営基盤の構築



- 人事、総務、証券決済、相続等の新たなミドル・バック業務の共同化・集約化
- 各信用金庫が有する知見等の共有機会の拡充
- 業界データを活用した効果的な業務運営支援

信用金庫の 人財育成の強化



- 信用金庫役職員に対する実務研修機会の拡充
- 信用金庫職員の自律的なキャリア形成に向けたSelsの機能強化
- 信用金庫の業務改革を担うDX人財の育成

<< 環境・課題認識 >>

- 人口減少・少子高齢化
- 自然災害の多発化・激甚化
- 地域間格差の拡大
- 中小企業の経営悪化（人手不足、原材料高、デジタル化の遅れ等）
- 個人の資産形成ニーズの拡大 等

考え方

- レジリエント（強靱）で持続可能な地域を築いていくためには、信用金庫業界が有する国内外に広がるネットワークを活用し、多様化・複雑化する中小企業・個人・地域の課題を着実に解決していく必要がある。
- 信金中金は、商品・サービスの利活用促進に向けた信用金庫に対するサポートを強化するとともに、外部専門機関と連携した業界として適正対価を受領できる良質な商品・サービスの提供を通じて、地域の課題を解決し、社会的なインパクトを実現する。

<< ありたい未来 >>

- 地域のステークホルダーとともに、信用金庫が課題解決のハブとなり、地域固有の産業や文化・伝統の継承と新たな価値や魅力の創出が実現する、レジリエントで持続可能な地域が築かれている未来

主要な取組み

個人の課題解決
サポートの強化



中小企業の課題解決
サポートの強化



地域の課題解決
サポートの強化



～2025

2025～2027

2030～

主要な取組み

主な重点施策

個人の課題解決 サポートの強化



- しんきんDBや預かり資産ナビ等を活用した効果的・効率的な業務推進支援の強化

中小企業の課題解決 サポートの強化



- 人手不足の課題解決やDX促進に向けた商品・サービスの強化
- 信用金庫のニーズを踏まえた海外拠点網の拡充
- 創業や成長に関する支援の強化

地域の課題解決 サポートの強化



- 自然災害や人口減少に対応した地域づくりへの取組みの強化
- 地域や中小企業の省エネ化・脱炭素化の推進

<< 環境・課題認識 >>

- 国内外の金融政策の転換
- 地政学リスクの高まり
- 信用金庫のニーズの多様化・高度化
- 信金中金における専門的かつ多様な人財の育成・確保
- 信金中金の業務範囲の拡大 等

考え方

- 信用金庫の中央金融機関としての役割・機能を持続的かつ安定的に発揮していくためには、信金中金がこれまで以上に「成長」していく必要がある。
- 信金中金は、協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革を「成長」のドライバーとし、人財戦略の強化、収益・財務基盤の強化・拡充、生産性の高い業務運営態勢の構築に取り組み、信金中金の「成長」を加速させる。

<< ありたい未来 >>

- 誇りと使命感にあふれた多様な人財の活躍によって、強固な収益・財務基盤、安定的な業務・システム運営を実現し、信金中金が業界内外から高い信頼と評価を獲得し、持続的に成長している未来

主要な取組み

収益基盤・財務基盤の
強化・拡充

人財戦略の強化

生産性の高い
業務運営態勢の構築

協同組織金融機関の特性を踏まえたガバナンス改革
事業ポートフォリオ・人的資本経営・RAF・グループガバナンス

～2025

2025～2027

2030～

主要な取組み

主な重点施策

収益基盤・財務基盤の 強化・拡充



- ・機動的なALM運営と金利リスク耐性を意識した投融資ポートフォリオの構築
- ・サステナブルファイナンスの拡充

人財戦略の強化



- ・ベーススキルの明確化・能力開発機会の拡充および多様な人財が活躍するための態勢整備
- ・信金中金の柱となる分野の専門人財の育成強化

生産性の高い 業務運営態勢の構築



- ・生成AIのさらなる活用
- ・業務改善・スクラップを通じた業務の効率化および中長期目線でのシステム戦略の見直し

財務目標および非財務目標（代表的なKPI）

信用金庫の中央金融機関としての役割・機能を持続的かつ安定的に発揮するとともに、重要な社会課題に対するインパクトを実現するため、以下の財務目標および非財務目標(代表的なKPI)の達成に取り組む。

(参考) 2024年度実績

		財務目標
中期的な目標収益水準	親会社株主に帰属する 当期純利益	424億円
(参考)		450億円程度
維持すべき経営指標	連結自己資本比率（国内基準）	23.40%
	配当可能限度額	15%以上
		2,000億円以上
重要な社会課題 (グループマテリアリティ)	インパクト	非財務目標(代表的なKPI)
地域産業の発展と日本の成長	◆中小企業の稼ぐ力の強化 ◆ファイナンスを通じた持続可能な社会への貢献	▶ 中小企業の販路拡大支援件数 11,000件〔中計期間累計〕
人口減少・少子高齢化社会のニーズへの対応	◆中小企業の後継者不足・人手不足への対応の強化 ◆個人の資産形成・承継の強化	▶ 個人の資産形成・承継にかかる商品・サービス利用者数 80万人〔2027年度末〕
環境問題への地域一体となった取り組み	◆地域・中小企業の脱炭素化の促進 ◆カーボンニュートラルへの貢献	▶ DX化・共同化による業界全体の業務時間削減効果 120万時間〔2027年度〕
信用金庫のセントラルバンクとしての金融安定化への取り組み	◆信用金庫の経営基盤の強化 ◆信用金庫の業務継続態勢の強化 ◆信用金庫のDX化・業務効率化の促進	▶ 信用金庫役職員の研修受講人数 80,000人〔中計期間累計〕
人財の活躍と成長	◆信用金庫職員向け育成機会の拡充 ◆活躍する人財の創出	▶ エンゲージメント評価指数 2025年度比向上〔2027年度〕
働きがいのある職場づくり	◆エンゲージメントの向上	▶ サステナブルファイナンス累計実行額 5兆円〔2021~2030年度〕
ガバナンスの強化	◆経営の公正性・透明性の確保 ◆グループ経営管理体制の強化	▶ 温室効果ガス排出量(Scope1,2) ゼロ/カーボンニュートラル達成〔2030年度末〕

4. よくいただくご質問

Q. グループ会社の業務内容・海外展開支援について

よくいただくご質問 ～信金中金グループのネットワーク～

- ◆ 信金中金は海外に5拠点を設け、経済・金融情勢や投融資環境をはじめとした現地情報を収集・発信するほか、現地銀行と連携し、信用金庫取引先の海外進出などを支援しています。
- ◆ グループ会社9社と一体となって、信用金庫および取引先の業務・経営に関するコンサルティングや多様なニーズに対応できる態勢を構築しています。

海外拠点と業務提携銀行



グループ会社



よくいただくご質問 ～海外進出企業支援～

- ◆ 海外での国際展示会出展における諸手続きの支援から、バイヤーの引合せ、商談サポート、アフターフォローまで一気通貫で支援を行う「海外展開にかかる伴走支援スキーム」を提供しています。
- ◆ 信用金庫取引先の海外展開を後押しするため、異業種交流や情報交換、ビジネスマッチング等の機会を提供するイベントとして、海外現地でこれまで100回以上「信金会」を開催しています。

シンガポールでの商談サポートの様子



「バンコク信金会」の様子

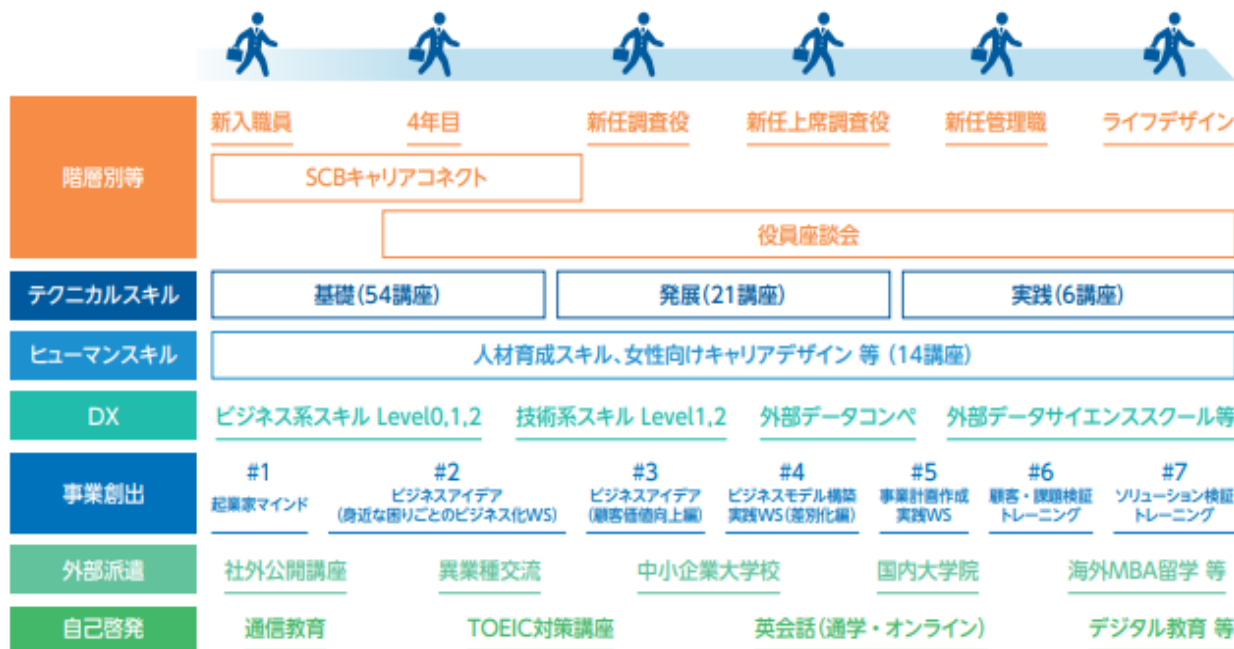


Q. 人財戦略への取組みについて

よくいただくご質問 ～ 人財戦略について ～

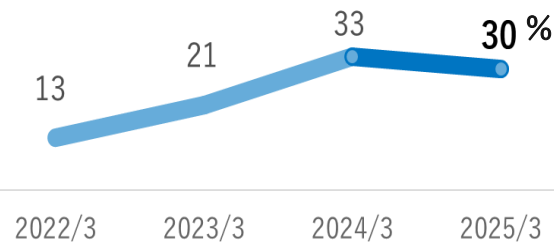
- ◆ 企業内大学「SCBユニバーシティ」では、金融の基礎知識から実践スキルまで100以上の豊富な研修メニューを提供しており、幅広い業務フィールドで活躍できる人材を体系的に育成しています。
- ◆ 多様な人材が能力を遺憾なく発揮できるよう、各種制度や施策に積極的に取り組んでおり、キャリア採用の比率や、女性役職者比率も一定の割合を維持しています。

SCBユニバーシティの体系図

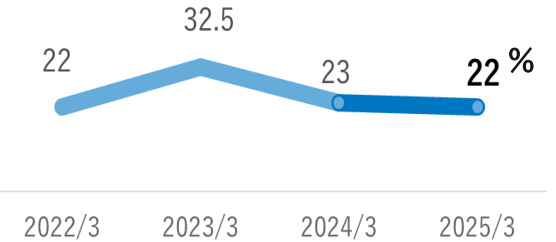


人事関連データ

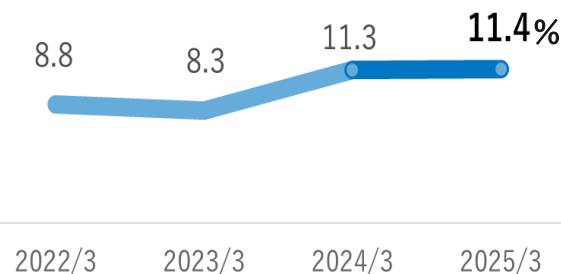
キャリア採用比率 ※1



総合職新卒採用者に占める女性の割合



女性役職者比率 ※2



※1 採用した正規雇用労働者のキャリア採用比率

※2 係長級にある者に占める女性労働者の割合を算出

よくいただくご質問 ～ 新規事業創出プログラム「neXtry」～

- ◆ 2022年度にスタートした新規事業創出プログラム「neXtry」は、信金中金の職員が、地域や信用金庫等の課題解決に向けた新たなソリューションを提案し、提案者自らアイデアの実現に取り組む制度です。
- ◆ 2024年度は第3期プログラムを実施したほか、これまでに提案された事業案も事業化に至っています。



事業化した提案

信用金庫の取引先や自治体等を対象に、タイ王国（バンコク）でのテスト販売・テストマーケティングを有償で実施するスペース「EN-MUSUBI」を2024年6月にオープン



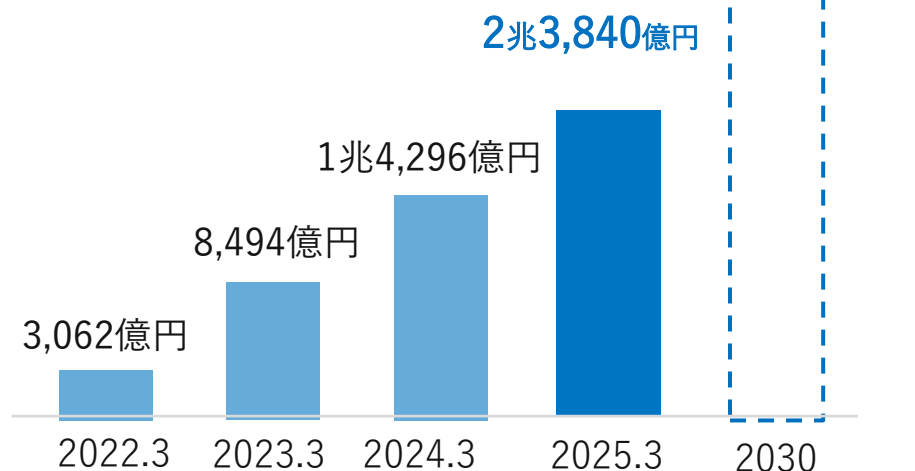
Q. サステナビリティへの取組みについて

よくいただくご質問 ～サステナブル経営実現に向けて～

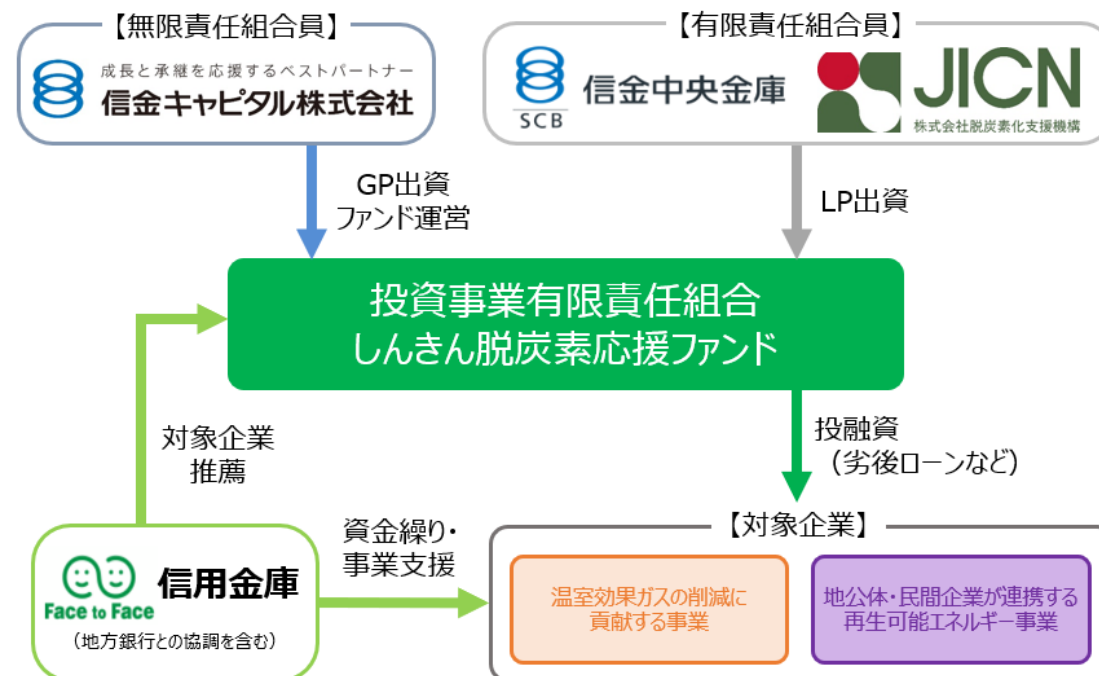
- ◆ 信金中金グループは、サステナブルファイナンスの中長期目標額を累計5兆円に引き上げ、気候変動対応をはじめとした環境・社会課題の解決に資するファイナンスに一層注力してまいります。
- ◆ 2025年4月、(株)脱炭素化支援機構および信金キャピタル(株)と連携し、地域の脱炭素化事業を支援する「しんきん脱炭素応援ファンド」(総額20億円)を組成しました。本ファンドを通じ、信用金庫が対象企業に対し資金支援やアドバイスを提供し、環境負荷低減と地域経済活性化を目指します。

サステナブルファイナンスの強化

中長期目標額：**累計5兆円**
(2021年度～2030年度までの実行額)



「しんきん脱炭素応援ファンド」の組成



Appendix

信金中金の特徴や優先出資証券の魅力、配当、優待などについて、オリジナルキャラクターが分かりやすくご説明しています。



PART1



PART2



統合報告書2025



個人投資家向けWEBサイト



【URL】 [信金中央金庫 統合報告書 2025](https://www.shinkin-central-bank.jp/ir/report/2025/)

【URL】 [信金中央金庫 投資家の皆さまへ](https://www.shinkin-central-bank.jp/ir/investor/)



- 本資料は、信金中金の事業内容および業績に関する情報の提供を目的としたものであり、信金中金の優先出資への投資を勧誘するものではありません。
- また、本資料は信金中金が信頼できると判断した情報に基づき作成したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではありません。
- なお、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の信金中金の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

<お問い合わせ先>
信金中央金庫
総合企画部 IR広報室
電話：03（5202）7700
URL：<https://www.shinkin-central-bank.jp/>